



広報

Nakagusuku

# なかぐすく



URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

No. 111  
2001.11.20



ナカグスクンチュ



参加者全員で中城村民の歌を斉唱



招待者を代表してあいさつする比嘉朝儀さん



中城村文化協会によるアトラクション

※ウチナーンチュ（沖縄県系人）ナカグスクンチュ（中城村出身者）したたかにふえーでーびるたいへんありがとうございますの意味



十月三十一日の前夜祭パレードをかわきりに、十一月一日から四日まで第3回世界のウチナーンチュ大会が沖縄コンベンションセンターや宜野湾海浜公園多目的広場などで開催された。世界のウチナーンチュ大会は、一九九〇年、一九九五年に続き、今回で三回目の開催で、世界の二八ヶ国と二地域からおよそ四〇〇〇人のウチナーンチュたちが、ふるさとに想いを寄せ参加した。

# ふるさとに寄せる想い

## 「世界の架け橋」を構築

沖縄県によるウチナーンチュ大会は、一九九〇年に沖縄県の祖国復帰二十周年記念事業の一環として、また一九九五年には太平洋・沖縄戦終結五十周年記念事業の一環として開催され、世界各地に在住するウチナーンチュネットワークの確立及び国際交流と平和の意義を考える機会であった。

そして第3回世界のウチナーンチュ大会は、世界各地で活躍する県系人を中心とする

乗り越え、今日の沖縄県の発展に大きく貢献しました。

ウチナーンチュ大会に参加する海外に住むナカグスクンチュを心から歓迎し、交流を通して母村との絆をさらに深め、ウチナーンチュ・ナカグスクンチュとしてのアイデンティティーの継承を図ろうと十一月五日「第3回世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会」を開催しました。

交流会には、ブラジルからの参加者で最高齢九十二歳の呉屋カメさん（津覇出身）ら五十二名が出席し村内視察や歓迎交流会を楽しみました。新垣村長は「心から歓迎します。みなさんの沖縄に対する思いに感動しています。十分に楽しんでください」とあいさつ。

また北米沖縄県人会副会長の比嘉朝儀さんは「大会参加のため海を渡って来た。歓迎会を催してもらい『したたかにふえーでーびる』とあいさつした後、中城村に対し感謝状の贈呈を行いました。参加者は中城村文化協会や津覇伝統芸能保存会による琉球舞踊や獅子舞などのアトラクションを堪能しました。

人的ネットワークをさらに拡大発展させ「世界の架け橋」を構築し、あらゆる分野にわたる持続的な交流と相互の発展に寄与することを目指し開催された。

## 中城人交流会を開催

沖縄県は、我が国有数の移民県であり、中でも中城村は、旧羽地村、西原村とともに移民送出母村として知られている。海外へ雄飛したナカグスクンチュはウチナーンチュのひとりとして、多くの困難を

戦後の海外移住者数 市町村別ランキング

1.那覇市	1,311人
(①ブラジル②ボリビア③アルゼンチン)	
2.沖縄市	729人
(①ブラジル②ボリビア③アルゼンチン)	
3.中城村	670人
(①ブラジル②ボリビア③アルゼンチン)	
移住者総数	10,486人

戦前の海外移住者数 市町村別ランキング

1.中城村	4,095人
(①ハワイ ②ペルー ③ブラジル)	
2.羽地村	3,251人
(①ブラジル ②ハワイ ③ペルー)	
3.西原村	2,502人
(①ブラジル ②ハワイ ③ペルー)	
移住者総数	42,669人

※ (1935年12月末現在、市町村名も同現在)

世界のウチナーンチュ移住国 (1997年現在)

1.ブラジル	130,000人
2.アメリカ	80,000人
3.ペルー	56,000人
4.アルゼンチン	22,400人
総数	約300,000人



2002年～2011年（平成14年～23年）を目標期間とする中城村の『第3次総合計画』を策定するための作業を去年秋から行っていきます。今後計画づくりの作業をさらに本格化させ、平成13年度末までに作業を終えたいと考えています。策定作業は次の表に示すような手順ですすめており、いよいよ終盤にさしかかってきました。

これから終盤の取りまとめ作業へ移っていきます

- 序盤（H12年秋～H13年春）**  
村民を含め様々な立場、分野からの取り組み実績や課題を洗い出し、次の10年の村づくりの基本視点を見出し出してきました。
  - 中盤（H13年夏～H13年秋）**  
骨子案の内容を公開し、計画の「肉づけ」のために、広く各方面からの具体的な意見を聞き出していきました。
  - 終盤（H13年秋～H14年春）**  
学識者をはじめ、県、周辺市町村との情報交換を踏まえた上で役場庁内での最終的な取りまとめを行います。
- ※今後の予定  
12月に地域別懇談会を予定しています。村づくりについて、各地域からの生の意見をお聞かせください。

フォーラムに御参加いただいた方の意見の一部をご紹介します。

『中城城跡（公園）と周辺地の活用』『観光からの活性化』『特産品の開発』  
中城城跡公園の史跡を核として村民の教育文化、産業経済を連結させて村づくりを強力に進めてほしいと思う。  
①具体的な城跡整備計画②村民の利活用③観光誘客、観光産業への取り組み④特産品づくり等をどう推進していくか早期の検討が必要。  
中城城跡を整備して、中城の歴史を訪れる人たちに説明するガイドさんがいたらいいと思う。そのガイドには地域のお年寄りなどをお願いすれば福祉につなげていけると思う。

『人材の育成』  
村づくりの基本は人づくりが村政の中核である。中城の村民像は①たくましい体とねばり強い意志力②思いやり、いたわり、やさしい豊かな心③創造力豊かな中城村民の育成が重要である。人づくりなくして本村の発展はない。  
子供達はこれからの村の宝である。地域で力を会わせ、守り、教え、育てていくことで素晴らしい大人に成長する可能性がたくさんあると思う。  
今、中城は世代交代の時期にきていると思う。今後の中城の発展のためにこれらを支えていく人材の育成のための教育、環境づくりなども必要だと思ふ。

『福祉の充実』  
福祉の拠点となる社会福祉センターを早期に実現してほしい。高齢化が急速に進んでおり、村民の健康を促進し、活力ある村づくりを行う為にも重要。  
『東西の連絡道路と湾岸道路』  
道路網を整備する中で産業がうまくま

『自然環境の保全』『都市基盤の整備』  
中城は海と山に恵まれているにもかかわらず、海はごみだらけで散歩する気にもならない。もっと整備し、子供達が遊べるようにしていけたらと思う。  
昔に比べ失われてきた自然を今からどのようにいい方向に持っていくかが今からの課題だと思ふ。  
『地域（なか）のつながり』  
『我した島（中城村）に誇りを持たせるためには』どのような方法があるか。文化的な物、スポーツ的なもの等考えていくべき。  
子供達の通学路、農業地域（子供が歩く横でも農業をまいたりする）ももっと安全に安心して歩ける環境づくりにも取り組んで欲しい。

『適正な土地利用』  
農業を主産業として位置づけにくいには、絶対的な面積が足りない。効率的な土地利用に迫られている。土地の有効活用により、産業の育成及び起業で雇用の場の確保等、活性化にもつながると思う。  
斜面は、斜面らしい地滑りのない作り方があっていい。知念村や玉城村にも斜面緑地があるが、向こうは地滑りがあり見られない。  
『自然環境の保全』『都市基盤の整備』  
中城は海と山に恵まれているにもかかわらず、海はごみだらけで散歩する気にもならない。もっと整備し、子供達が遊べるようにしていけたらと思う。  
昔に比べ失われてきた自然を今からどのようにいい方向に持っていくかが今からの課題だと思ふ。

『特色ある農林漁業・商工業』  
農業は中城の重要産業である、価値ある生産性を推進し、若者に夢を与えて欲しい。  
村内での働く場所や買い物、レジャーでの消費の場所があれば、村は活性化し経済的にも潤うのではない。  
自然環境を保全しながら、どう産業を興して活力ある村づくりができるかを考えて欲しい。  
『教育と文化の振興』  
図書館や子供や人間に必要なものが少ない。無いなら無いで近くの市町村で借りることのできるシステムを作るべき。  
『中城の美しい景観』  
墓地の村、ゴルフの村中城ではなく中城城跡が世界遺産になったこと村民への意義づけと村民の盛上げに欠けているのではない。  
屋敷から大城間のロードが両サイド草が生い茂って、城への思い入れがどうも伝わってこない。村としてのやる気を見せなければ。  
中城村に残される斜面緑地は、沖縄市と与那原町間では、良い風景。泡瀬のMUSCO付近（具志川）のようないふれた風景にはなっていない。  
お金がかかるかもしれないが、中城公園の近くにあるいろいろな所は適切に取り除き、もっと歴史的にきれいにしたいと思う。  
『情報をオープンに』  
中城城跡の周辺地の利活用は、一般の人にはどれくらい進んでいるのか知らされていないので、これからの見通しなど説明が欲しい。



中盤に開催された各種ワークショップの様子

第1回中城村総合計画審議会を開催しました。

- 中城村総合計画審議会委員  
(中城村総合計画審議会条例3条2項) 村議会の議員
- ・ 議長 比嘉盛安
  - ・ 総務委員長 比嘉善栄
  - ・ 建設委員長 新垣德行
  - ・ 文教社会委員長 知念清
  - ・ 教育委員長 新垣勇
  - ・ 村教育委員会委員 比嘉聖
  - ・ 農業委員会委員 津嘉山正光
  - ・ 農業委員会委員 比嘉善栄
  - ・ 農業者代表 比嘉善栄
  - ・ 学識経験者 新垣盛文
  - ・ 沖縄国際大学教授 比嘉善栄
  - ・ 琉球大学教授 比嘉善栄
  - ・ 沖縄県都市計画課長 比嘉善栄
  - ・ 自治会長 比嘉善栄
  - ・ 南上原自治会長 比嘉善栄
  - ・ 南浜自治会長 比嘉善栄
  - ・ 県中城地区自治会長 比嘉善栄
  - ・ 村の公共団体の役員 比嘉善栄
  - ・ J.A.サンライズ専務 比嘉善栄
  - ・ 村漁業協同組合中城支所長 比嘉善栄
  - ・ 村漁業協同組合専務 比嘉善栄
  - ・ 村商工会会長 比嘉善栄
  - ・ 村商工会女性部長 比嘉善栄
  - ・ 村婦人会会長 比嘉善栄
  - ・ 村生活改善グループ会長 比嘉善栄

あなたのご意見をお聞かせください。

今後も村民の皆様のご意見を計画づくりに反映させていく予定です。また、役場では総合計画に関するご意見、ご提案、疑問質問などを随時受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見は役場窓口への持込・封書・FAX・電子メールで随時受け付けています。  
※次回の総合計画だよりは来年1月発行の予定です。

あて先  
〒901-2493 中城村字当間176番地  
中城村役場 企画課(担当:石原)  
●電話 098-895-2131  
●ファックス 098-895-3048  
●電子メール kikaku@vill.nakagusuku.okinawa.jp

アンケートからの意見

『中城城跡（公園）と周辺地の活用』『観光からの活性化』『特産品の開発』  
中城城跡公園の史跡を核として村民の教育文化、産業経済を連結させて村づくりを強力に進めてほしいと思う。  
①具体的な城跡整備計画②村民の利活用③観光誘客、観光産業への取り組み④特産品づくり等をどう推進していくか早期の検討が必要。  
中城城跡を整備して、中城の歴史を訪れる人たちに説明するガイドさんがいたらいいと思う。そのガイドには地域のお年寄りなどをお願いすれば福祉につなげていけると思う。

『特色ある農林漁業・商工業』  
農業は中城の重要産業である、価値ある生産性を推進し、若者に夢を与えて欲しい。  
村内での働く場所や買い物、レジャーでの消費の場所があれば、村は活性化し経済的にも潤うのではない。  
自然環境を保全しながら、どう産業を興して活力ある村づくりができるかを考えて欲しい。  
『教育と文化の振興』  
図書館や子供や人間に必要なものが少ない。無いなら無いで近くの市町村で借りることのできるシステムを作るべき。  
『中城の美しい景観』  
墓地の村、ゴルフの村中城ではなく中城城跡が世界遺産になったこと村民への意義づけと村民の盛上げに欠けているのではない。  
屋敷から大城間のロードが両サイド草が生い茂って、城への思い入れがどうも伝わってこない。村としてのやる気を見せなければ。  
中城村に残される斜面緑地は、沖縄市と与那原町間では、良い風景。泡瀬のMUSCO付近（具志川）のようないふれた風景にはなっていない。  
お金がかかるかもしれないが、中城公園の近くにあるいろいろな所は適切に取り除き、もっと歴史的にきれいにしたいと思う。  
『情報をオープンに』  
中城城跡の周辺地の利活用は、一般の人にはどれくらい進んでいるのか知らされていないので、これからの見通しなど説明が欲しい。

『墓地増加の問題に対処を』  
最近他の市町村の人が墓地を建設するのが増えていて、環境の面からも何らかの規制を早急にやらないと取り返しのつかないことになる。  
村外者の墓の増加を抑制すべき、という見方には賛成。しかし、伝統的な方法で作られた掘込式の墓は、斜面地にあっても、森林景観を崩すことなく可能と思ふ。

『フォーラムの開催について』  
また開催してほしい。むらづくりには村民の意見を大いに反映させて欲しい。  
今までのフォーラムも良かったが、村民が本音で話し合える機会を作ってほしい。  
こどもの表彰等とは分けて開催して、もっと時間をかけて落ち着いて話を聞きたい。

みなさんは、これからの中城村について、どのようにお考えでしょうか。

9月19日

## 登録認定書の伝達



昨年12月に、世界遺産に登録された中城城跡など「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の所在する市町村に対し、世界遺産認定書のレプリカが交付されました。

認定書交付式で稲嶺沖縄県知事は「世界遺産として国際的な評価を受けた。琉球の歴史と文化が登録され、喜びに耐えない。関係者の尽力に対し感謝し、恒久的に保存、活用し積極的にアピールしたい」とあいさつしました。

市町村長を代表し翁長那覇市長は「貴重な遺産が先人達によって残されたことは、驚くべきことである。文化財を守り、沖縄の心をしっかりと伝えていきたい」と話しました。

9月21日

## 子育て講演会を開催

子どもがいきいきと育ち、親子の元気な声ができる地域をつくろうと9月21日、吉の浦会館で子育て講演会が開催されました。

講師はこもり助産院院長の小森香織先生で『「家庭の中での性教育」～赤ちゃんから思春期まで～』と題して講演が行われました。

小森先生は「性について、親が情報を発信すべきであり、メディアに惑わされてはいけない」、「親が普段から話ができるようにしないといけない」と話した。



10月13日



## バンナーロックを征服

中城村教育委員会は、文化財に対する愛着心と、保存・継承する心を育てようとアメリカのペリー提督一行がかつて岩山征服を記念して、旗を立てたと言われる中城村新垣にある村指定の文化財「ペリーの旗立岩（バンナーロック）」を清掃した。

文化財を保護していく心を養うことと歴史的意義のあるこの地を広く村民に知ってもらおうと児童・生徒も参加した。

新垣区民など120人余の参加者が、ノコギリやチェーンソーで伐採すると木々に覆われていた岩が徐々に現れ、村長と生徒の代表が岩に村旗を立てました。

清掃活動の前に、吉の浦会館では沖縄県立埋蔵文化財センター所長の知念勇氏（中城村文化財保護審議会委員長）が「調べることで、疑問に思うことで文化財に愛着がわき、自分達の文化財であるという意識がもてる」と講話を述べました。

## ナイスショット！

秋晴れの体育の日、吉の浦公園で村民軽スポーツ大会が行われました。

これは日頃の運動不足の解消とスポーツレクリエーションを楽しみ地域間交流として親睦を深めるとともに健康維持増進、体力の向上を図ろうと毎年体育の日に行われている。今年の大会は150人余りの村民が参加し、ターゲットバードゴルフとグランドゴルフに分かれプレーを楽しみました。

10月8日



10月17日

## 具志川火力発電所を視察

中城村の三役(村長・助役・収入役)と中城村議会は、10月17日、沖縄電力具志川火力発電所を視察しました。

これは、沖縄電力が2010年を目途に新しい発電所の建設計画が浮上したのに伴い、その発電所施設の誘致を検討しようとい行われました。

大城具志川火力発電所所長の同発電所についての概要説明の後、今回計画されている発電所についての説明があり、議員の中からは燃料や規模についての質問が出されました。

## 交通安全の「お守り」を配布

秋の交通安全週間期間中の9月28日、中城村交通安全母の会は国道を通行中のドライバーへ、信号機で停止している間に、交通安全のチラシとお守りを配布しました。

お守りは、国道329号線にちなんで329個を手作りで用意した。

宜野湾警察署の島袋博交通課長は「10年近く地道な活動を行っていることに感謝します。中城村は死亡事故の発生が少なく、宜野湾地区の最後の砦である」と話し、母の会を激励しました。

9月28日



# 88億4,483万円を支出

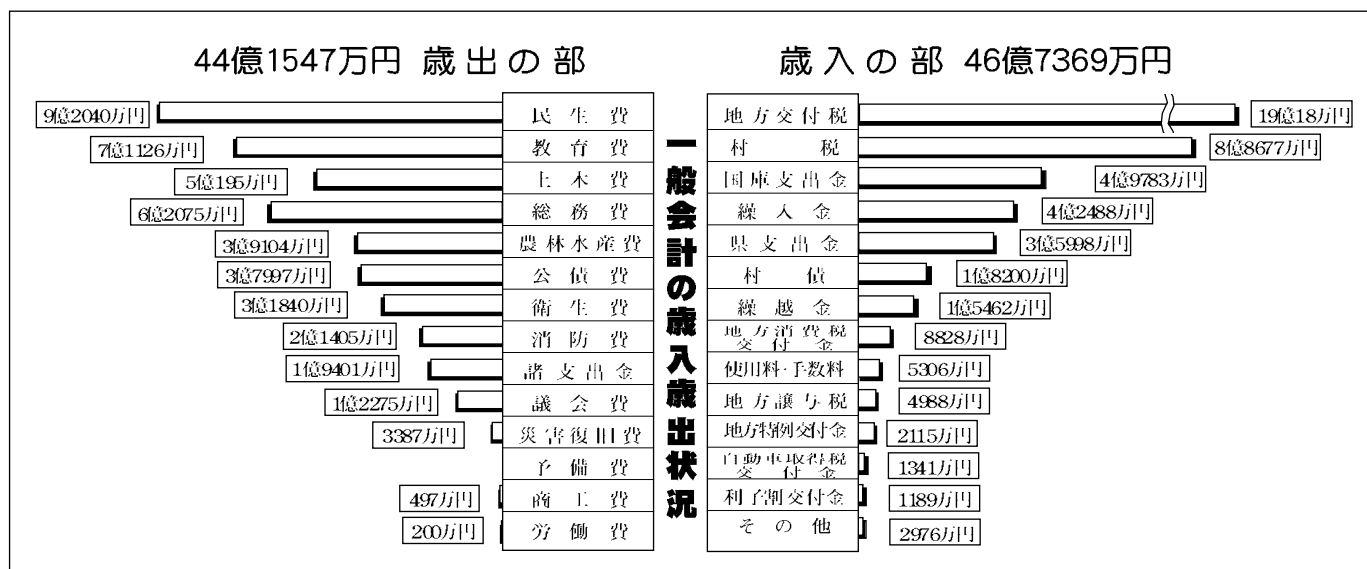
## 村民一人あたり（一般会計）30万2千円

平成十三年第五回中城村議会定例会が九月十三日から開かれ、平成十二年度決算が認定されました。

歳入は、一般会計が四億七千九百九十九万四千八百八十八円、国民健康保険等の特別会計を含めた歳入総額は、九億三億四千八百八十八円。

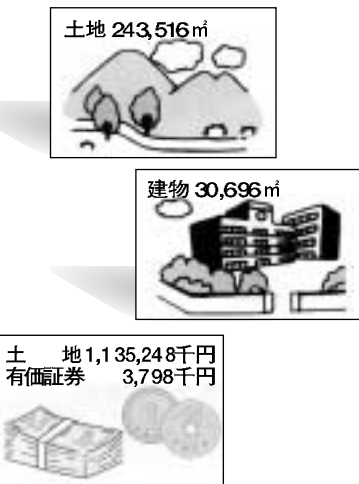
歳出は、一般会計が四億四億一千四百七十九万四千八百八十八円、特別会計を含めると八億八億四千八百八十八円となり、一般会計が前年度より一億五千七百九十九万四千八百八十八円減少し、また、公共工事の減による国庫支出金が三億三千四百二十五万四千八百八十八円減少しています。

一般会計歳出は、前年度と比較して介護保険円滑導入基金等への積立金がなくなったことによる総務費が二億四千八百八十八万四千八百八十八円、構造改善施設建設の補助金の減による農林水産費が九億七千九百九十九万四千八百八十八円、児童公園の工事が減になったことによる土木費が一億二千四百六十六万四千八百八十八円、体育館工事の終了による教育費が二億二千四百八十八万四千八百八十八円の減となっており、村民一人あたりに使われたお金は三千万二千四百で、納税額は六万七千七百五十円、一人あたりの借金は二十万五千円となっています。



# 財政状況

## 村有財産の状況



## 特別会計

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	1,459,381	1,499,486	1,400,799
老人保健計	1,026,209	980,601	985,008
土地区画整理会計	1,219,035	998,764	883,946
介護保険計	779,292	780,956	750,546
下水道計	411,368	411,376	409,066

(単位：千円)

# 年金は世代から世代への「仕送り」です。

### 国民年金は、年金制度の「柱」。

現在、六五歳以上の高齢者のいる世帯のほぼ全世帯（九六・六％）が公的年金を受けており、収入のすべてが公的年金という世帯も六一・四％に上っています。

公的年金制度は、まさに老後生活を支える大きな柱としてなくてはならない制度です。

二十一世紀の本格的な少子・高齢社会の到来を目前に控えた今、国民年金制度に対する正しい理解を一層深め、年金制度を支える社会的連帯を醸成する目的で十一月を「国民年金制度推進月間」と定めています。

国民年金は日本に住んでいる二十歳から六十歳までのすべての人が加入します。

国民年金は、老後の生活を

### 若い世代も保険料を納めよう！

国民年金は、若い人たちに決して無縁なものではありません。

学生であっても二十歳以上であれば国民年金に加入し、保険料を納める義務があります。しかし、通常、学生には所得がありませんので、学生期間中は、保険料を猶予し、社会人になってから学生期間中の保険料を納めることのできる「学生納付特例制度」が

あります。この学生納付特例期間中に、思わぬ事故や病気にあつて障害が残った場合にも障害基礎年金が満額保証されます。

このように国民年金は、高齢者の生活を支えるだけでなく、若者にとっても重要であり、国民一人一人にとって欠かすことのできない大切な制度です。

現在現役で働いている世代の納めた保険料が高齢者や障害を負った方、一家の働き手を失った方の生活を支えています。

また、物価の上昇などの経済状況の変化にも対応できるように完全自動物価スライド制によって年金額の実質価値が守られ、長い老後生活も安心して送ることができるなど、まさに世代から世代への「仕送り」なのです。



事項	受給件数	支給額
老齢基礎年金	1,828	1,053,854,500
障害基礎年金	340	314,096,900
遺族基礎年金	15	16,922,300
寡婦関係年金	5	2,134,300
死亡一時金	—	—
特別一時金	—	—
老齢福祉年金	45	17,610,000
総合計	2,233	1,404,618,000

総額で、十四億四六一万円

平成十二年度に、中城村に住む方々に支給された年金額は、次のとおりで総額十四億四百六十一万円でした。

# ●●●伝言板●●●

## 既存宅地確認制度の廃止に伴う措置について

廃止された既存宅地の要件を持つ土地について、許可制とする措置を講じました。  
平成13年5月18日をもって既存宅地確認制度が廃止されました。  
沖縄県では、当分の間、市街化調整区域内の（廃止された）既存宅地の要件を持つ土地について、許可を受けることにより、従来どおりの建築が可能となる措置を講じました。



- これにより、一定の条件のもと
- 1) 非自己用の建築物（アパート等）
  - 2) 廃止された既存宅地の要件を持ちながら、既存宅地確認を受けることができなかった土地。
  - 3) 道路の設置による宅地分譲等が建築可能となります。

【お問い合わせ】  
沖縄県土木建築部建築指導課 開発審査係 866-2413

## 納税は簡単便利な口座振替を！

つい「仕事が忙しくて・・・」「うっかりして・・・」などの理由により、村税の納付を忘れがちではありませんか？  
納め忘れがなく納付の手間が省けるなど便利な口座振替を利用してください。指定された預金口座から自動的に払い込まれるので、納期の度に金融機関へ行く必要がありません。（領収書は各納期後にお送りします。）  
なお、振替手数料は村が負担します。  
【申込み手続き】  
役場窓口（各字自治会長宅）に申込用紙がありますので、必要事項を記入のうえ、金融機関窓口にて申下さい。

税目 期別	村県民税	固定資産税	軽自動車税
第1期分	7月2日まで	5月31日まで	5月31日まで
第2期分	10月1日まで	7月31日まで	
第3期分	11月30日まで	12月25日まで	
第4期分	1月31日まで	2月28日まで	

中城村役場 税務課  
895-2131 (242)

## 預金の保護の範囲が変わります

- 万一金融機関が破たんした場合でも、預金者一人当たり、定期預金等の元本1千万円までとその利息は、来年の4月以降も保護されます。
- 合算して元本1千万円までとその利息は、あくまで最低保障ですので、受け取れるのは1千万円だけではありません。
- また、当座預金・普通預金等は、平成15年3月まで全額保護されます。
- 詳細は、金融機関の窓口等にお問い合わせ下さい。

○金融庁 <http://www.fsa.go.jp/>  
○預金保険機構 <http://www.dc.go.jp/>

金融庁

## おきなわド真ん中・DO・遊・農

### 第3回なかみ農産物フェア

日時：12月8日（土）・9日（日）  
午前10：00～午後5：00  
場所：泡瀬漁港広場  
(沖縄市産業交流センター)

【お問い合わせ】  
中部地区農業後継者育成確保対策協議会



## 犯罪について知っていることは積極的に通報を！

住民のみなさんが不審な車両ナンバーをメモし、それを警察に通報していただいたことで事件を早期解決した事例がたくさんあります。  
事件があったとき、不審な人物や車を目撃した、あるいは犯人に似た人を知っているといった場合には、どんな些細なことでもためらわず、一〇番か宜野湾警察署に通報して下さい。

宜野湾警察署  
〇九八八八九〇一一〇

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求は、

## 平成14年4月1日まではです。

対象者 戦没者死亡当時の三親等内親族で、主に次の要件を満たす方に特別弔慰金が支給されます。

○平成7年4月1日から平成11年3月31日までの間に、公務扶助料や遺族年金等の受給権者が遺族内にいなかった方。

給付内容 額面24万円 6年償還の記名国債  
請求窓口 中城村役場 健康福祉課・援護係  
895-2131 (252)

## 中部農林高等学校定時制課程 特別募集と編入学生の募集

### ★特別募集

中学を卒業後、家庭やその他の事情で高校進学ができなかった勤労者に対して、高校教育を受ける機会を与えようとする公的な制度であり、学力検査が免除になります。

- (1) 出願資格：勤労者で満20歳以上の者
- (2) 出願手続：出身中学からの入学願書及び調査書、卒業証明書、入学考査料、健康診断書、その他必要書類を添えて手続きする。
- (3) 出願期間：平成14年2月7日～2月8日の2日間
- (4) 検査期日：3月12日（火）午前11時15分～

### ★編入学生

諸々の事情で高校を中退した方に、再就学の機会が与えられる制度です。

- (1) 受付期間：平成14年1月9日～1月11日
- (2) 体験入学：平成14年2月1日～2月15日

【お問い合わせ】  
中部農林高等学校定時制 973-3578 (pm3:00～5:00)

## チャリティーダンスパーティー

# シャルウィダンス in 吉の浦 2001

とき：平成13年12月8日（土）  
午後6時開場 6時30分開演

ところ：中城村吉の浦会館

※お楽しみ抽選会、軽食、ドリンク販売  
コーナーあり

【お問い合わせ】  
かたいことめきにして中城で楽しむ会  
098-895-4081

## 参加者募集

きつと出会える人・夢・愛

2002おきなわマラソン

期日 2002年2月17日（日）

- ① マラソンスタート 午前9時～午後3時 フィニッシュ
- ② 高校10kmスタート 午前9時30分
- ③ 一般10kmスタート 午前9時35分

会場・コース 沖縄県総合運動公園陸上競技場

参加料 ①フルマラソン 一般3500円 18歳未満2500円  
(傷害保険料、記念Tシャツ代含む)  
②高校10km 500円(但し、学校単位で申込)  
③一般10km 2000円

### 参加資格

- ① 国籍を問わず16歳以上。
- ② 競技マラソン部門は18歳以上で日本陸連の登録者
- ③ 高校10kmは2001年度沖縄県陸上競技協会登録の生徒かつ実行委員会が定める規定に該当する生徒
- ④ 視覚障害者は必ず伴走者を伴い、それを明示する

### 参加方法

平成13年12月3日～12月23日までに指定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料を添えて申し込む。

### 参加受付場所

- おきなわマラソン実行委員会事務局 930-0088  
琉球新報社本社事業部 865-5253  
琉球新報社中部支社 934-6500  
沖縄テレビ放送営業部 869-4412  
インターネット申込(手数料が必要)  
URL: [www.okinawamarathon.com](http://www.okinawamarathon.com)

お問い合わせ  
沖縄市諸見里2-1-1 (沖縄市菅コザ運動公園内)  
おきなわマラソン実行委員会事務局  
930-0088

# 第27回童話・お話・意見発表会を開催

平成十三年十月二十五日、第二十七回中城村童話・お話・意見発表大会が開催されました。



小学校低学年四人、高学年四人、中学生六人がしっかりと発表していました。各学校の代表者だけあって内容・音声・態度とも実にすばらしく、審査するのに困りました。小学校の低学年の部では、一人一人の身ぶりや表情が実に豊かで、明るく健康的でおもしろい内容でした。声もよく通っていました。態度についても演壇に登る時から降りる時まで礼儀正しくとても素晴らしいかったです。

今回中学生で特に感じたことですが、九月に行われた少年の主張大会より、自分をしっかりと見つめ、内容に深まりが出て感動させられたものがいくつかありました。その影には、指導にあられた先生方の力によるものと思われるかもしれません。もちろん小学校でも細かいしぐさまで指導の跡がうかがえます。

しかし、これは課題だと思いますが、自分が発表する文章はしっかりと覚えてほしいと思います。いくら内容がよくても、覚えていないと訴えが弱くなります。聞く人にとれだけ訴えてくるものがあるかが、評価のポイントになります。

審査の結果  
小学生低学年の部

優秀賞  
あらかきこうや 津覇小  
狩俣有花 津覇小

小学生高学年の部

優秀賞  
吉田拓実 中城小  
新垣夏恋 中城小

優秀賞  
中城小の部

発表を行った生徒たち  
あらかきこうや 津覇小2年  
狩俣有花 津覇小3年  
中村みくり 中城小3年  
吉田拓実 中城小6年  
新垣夏恋 中城小6年  
比嘉夏枝 津覇小6年  
新垣朋洋 津覇小6年  
玉城裕美 中城小1年  
新垣宏樹 中城小1年  
呉屋佑樹 中城小2年  
安里由香利 中城小2年  
城間美咲 中城小3年  
新屋敷幸龍 中城小3年

# カレーパーティーが楽しみ

中城村子ども育成連絡協議会

十一月三日、中城村子ども育成連絡協議会主催（新垣勇会長）のジャガイモの植え付け作業が中城村奥間の農場で行われました。

今回は、子ども会を設立して十三年という記念する事業ということで、新垣勇会長はじめ、仲座益助教育長、そして七子ども会総勢二〇〇名の参加で盛り上がった。

開会式の後、奥間在住の比嘉昭粹さん提供の畑へ移動し



さっそく、お父さん方がうね作りをし、その後子どもたちは、たねいもを押し込み土をのりかきつけていた。

二月の下旬に収穫ができるそう、その時には吉の浦会館において、カレーパーティーを予定している。

中城村教育委員会  
指導主事 真栄城 隆

1 10月17日 土 友引	世界エイズデー	22 11月8日 土 赤口	
2 10月18日 日 先負	日曜授業参観（中学校） 骨粗しょう症検診（吉の浦会館）	23 11月9日 日 先勝	天皇誕生日
3 10月19日 月 仏滅		24 11月10日 月 友引	振替休日
4 10月20日 火 大安	健康相談日[午前9時～11時] 役場 浜ふれあい事業 南上原ふれあい事業	25 11月11日 火 先負	健康相談日[午前9時～11時] 役場 第二学期終業式
5 10月21日 水 赤口		26 11月12日 水 仏滅	
6 10月22日 木 先勝	3歳児健診（吉の浦会館） H10.4.5生～H10.6.6生[受付：午後1時30分～2時30分]	27 11月13日 木 大安	
7 10月23日 金 友引	リハビリ教室（吉の浦会館）[午後1時30分～4時]	28 11月14日 金 赤口	かりゆし学童少年野球大会（～30日） 御用納め
8 10月24日 土 先負		29 11月15日 土 先勝	生花講習会（村婦人会）
9 10月25日 日 仏滅	家庭・地域部会実践発表会（学対）	30 11月16日 日 友引	
10 10月26日 月 大安		31 11月17日 月 先負	
11 10月27日 火 赤口	健康相談日[午前9時～11時] 役場 乳幼児健診（老人福祉センター） [受付午後3時30分～2時30分]	1 11月18日 火 仏滅	元旦（あけましておめでとうございます）
12 10月28日 水 先勝	当間ふれあい事業	2 11月19日 水 大安	
13 10月29日 木 友引		3 11月20日 木 赤口	
14 10月30日 金 先負		4 11月21日 金 先勝	御用始め
15 11月1日 土 大安	生活発表会（中城幼） 県中学校文化祭	5 11月22日 土 友引	
16 11月2日 日 赤口	村子連13周年記念式典・発表会	6 11月23日 日 先負	かりゆし学童少年野球大会（～30日）
17 11月3日 月 先勝		7 11月24日 月 仏滅	新春ゲートボール大会（村老連） 第三学期始業式（各学校）
18 11月4日 火 友引	健康相談日[午前9時～11時] 役場 奥間ふれあい事業 北上原ふれあい事業	8 11月25日 火 大安	健康相談日[午前9時～11時] 役場 浜ふれあい事業 南上原ふれあい事業
19 11月5日 水 先負	リハビリ教室（吉の浦会館）[午後1時30分～4時]	9 11月26日 水 赤口	母親学級①（吉の浦会館）[午後7時～9時30分]
20 11月6日 木 仏滅	歯科検診（吉の浦会館） H11.12.21生～H12.2.14生[受付：午後1時～1時30分] H11.6.12生～H11.8.20生[受付：午後1時～1時30分] H9.6.12生～H9.8.20生[受付：午後2時30分～3時]	10 11月27日 木 先勝	離乳食実習（吉の浦会館） H13.8.14生～H13.10.10生[受付：午後1時30分～2時]
21 11月7日 金 大安		11 11月28日 金 友引	リハビリ教室（吉の浦会館）[午後1時30分～4時]

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

## 中城村の人口

平成13年10月末現在

人口 14,876 (36)

男 7,641 (24)

女 7,226 (12)

世帯数 4,842 (18)

※ ( )内は前月との比較

## 「STOP THE 不法投棄」

家電リサイクル法等の施行により、ごみの不法投棄が多くなることが予想されます。

“不振な車を見かけたら連絡を！”

【お問い合わせ】  
中城村役場 住民生活課 895-2131 (220)



# フォトニュース



## コンサートで平和を考える

九月二十九日、吉の浦会館で映画「GAMA月桃の花」の上映と海勢頭豊さんの平和コンサートが開催されました。午後二時からの部には、子ども達を中心に三〇〇人余が中城村南上原出身の「や海勢頭豊さんのコンサート」を楽しみました。またアメリカで起きた同時多発テロ事件により、アメリカ軍を中心とした報復攻撃が論議されている中での映画上映となり、村民は改めて戦争について考える機会となった。



## いつまでもお元気で

津覇小学校四年生とボランティア委員は、老人保健施設「中城苑」に通うお年寄りに自分達で栽培した花をプレゼントした。これは敬老の日を前に、お年寄りの心を和んでもらい、いつまでもお元気でいてもらおうと企画されたもの。例年は運動会へ招待していたが防音工事の影響で運動場が狭くなったため、今年は花のプレゼントとなった。子どもたちは、お年寄りに宛てた手紙とともに手渡しました。

## 老・婦合同運動会



「待ちに待ちたる運動会」。二年に一度、老人と婦人が互いに協力し開催される合同運動会が、十一月四日、吉の浦運動公園陸上競技場で行われた。秋晴れのもと、玉入れ競争や婦人会による演技、来賓ゲームなど心地良い汗を流した。

## 選手の活躍を祝う

中頭地区中学校陸上競技大会で女子の部優勝、男女総合で二位という成績を残した中城中学校。その活躍をたたえる祝賀会が、十月十二日吉の浦会館で行われました。これは、PTAが主催したもので、選手をはじめ父母や教師らが参加した。伊佐盛信校長は、「朝も早くから練習に励んでいる。耐えることのできる者が勝利できる」と選手達をたたえ激励した。県大会への派遣選手の紹介がなされ、選手達は県大会での活躍を誓った。



## 優勝を報告

十月二十一日に行われた野湾地区防犯協会主催の第九回少年野球大会で初優勝を成し遂げた津覇小野球クラブの代表が村役場を訪れ、優勝を報告した。村役場を訪れたのは、米須清健監督、玉那覇父母会長、主将の多和田君、副主将の島袋君、投手の比嘉君。村長は「優勝おめでとう。野球をとおして心も体も成長していることでしょう。もっと上を目指して頑張ってください」と激励した。

